



三井金属鉱業株式会社
東京都品川区大崎 1-11-1
郵便番号 141-8584

三井金属

平成 18 年 10 月 10 日

各 位

三井金属 中国珠海市に自動車触媒の生産・販売拠点を設立

～ 07 年 10 月より二輪車向けを中心に現地生産を開始～

当社 三井金属（社長 榎原 紘）は、2008 年に排ガスの規制強化が予定される中国において、自動車（二輪・四輪）排ガス用触媒（ 1）の生産及び販売の拠点となる新会社をこの 9 月に設立いたしました。2007 年 10 月に本格的な生産開始を予定しております。

< 中国 珠海市に新会社設立 >

当社は従来、部品事業の一つとして、二輪車と四輪車向けを中心に排ガス浄化用触媒を生産・販売しております。このたび同事業を中国国内に展開することを決定し、今年 9 月、新会社である三井金属（珠海）環境技術有限公司を設立いたしました。

中国広東省珠海市の南屏工業団地を建設予定地（ 2）とする同社は、2007 年 1 月に着工し、年間 400 万個の触媒を生産する能力を備えた拠点として、同年 10 月に本格的な操業を開始する計画です。同工業団地には、当社銅箔事業の拠点である三井銅箔（広東）社（ 3）が既に進出しており、同社の敷地内遊休地を新会社の建設予定地として活用します。

新会社の資本金は、350 万 US ドルとし、当社が 100% 出資いたします。また、人員は当初 50 名の体制を予定しております。今後、新会社は、日系二輪車メーカーからの受注に加え大手ローカル企業への拡販も図ることで 2010 年度までに年間約 400 万個の生産を見込みます。

なお、当社の触媒事業における海外拠点は、タイの MSC 社（ 4）、インドの MKCI 社（ 5）に次いで 3 つ目の拠点となります。

< 中国触媒市場の動向と新会社の展望 >

2005 年、二輪車の世界における販売台数 3,800 万台の内 35% にあたる 1,300 万台が中国国内で販売されており、同国は、世界第一位の二輪車の需要国です。2008 年中国は、排ガスの規制強化を本格的に実施する予定であり、二輪車用触媒の需要が急激に伸びるものと予想されます。

新会社は将来、二輪車に止まらず、同様に拡大し続ける中国の四輪車市場にも触媒製品を拡販すべく並行して検討を重ねてまいる予定です。加速する中国のモータリゼーションの推移を見極め、適時に機敏な対応を可能とする体制を整え、同国の二輪車および四輪車の両市場で優位に触媒事業を展開してまいります。

1. 自動車排ガス用触媒とは、排気ガス中の NOx や CO に対する浄化反応を促進させるための部品。
円筒形で筒内が網目状に加工されたステンレス・アルミ合金・セラミックスなどを、貴金属をはじめとした触媒反応を起こす物質でコーティングした後、焼成を経て製品となる。
車種により様々な大きさがあり、エンジンの排気管（マフラー等）内に搭載される。
2. 新会社の敷地面積は、11,000 m²（建屋面積 3,200 m²）を予定。
3. 三井銅箔（広東）有限公司。2001 年 7 月設立。
4. Mitsui Siam Components Co.,Ltd. 。1995 年 2 月設立。
当社自動車用ドアロックの生産拠点でもある。
5. Mitsui Kinzoku Components India Private Limited 。2005 年 6 月設立。

以 上

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室 TEL 03-5437-8028 FAX 03-5437-8029
Eメール koho@mitsui-kinzoku.co.jp